

## (2) 市民の活動の現状

- ①町内会館を拠点とし、町内会を中核とした地域コミュニティ活動が活発に行われ、まちづくりの重要な役割を担っています。また、近年、町内会館等において様々な交流事業が展開されています。
- ②公民館、富谷市ボランティアセンターなどを拠点に、福祉、教育、地域おこしなど様々な分野において、地域の課題を解決する市民の自主的、自発的な活動が活発に行われています。
- ③新たな市民の活動拠点として、富谷市まちづくり産業交流プラザ(とみぶら)が2018年に新設され、「富谷塾」塾生によるコミュニティビジネス・ソーシャルビジネス等を通じた地域の課題を解決する活動が芽生え、広がっています。
- ④地域福祉の推進や新たな特産品づくりなどにおいて、社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの公益法人や、NPO(特定非営利活動)法人との連携が進んでいます。

## (3) 改善が必要なこと(課題)

- ①**市民の意識を高めていくことが必要です。**
  - ア. これからは、なんでも市でやればよいという気持ちではなく、市でできること、市民ができることをみんなで理解していくこと。
  - イ. 市が実施していた事業を市民が代わって主体的に行っている事例もあり、市民発の事業を増やしていくこと。
  - ウ. まちづくりを担っているという意識がないまま参加している人もいるので、そのような人たちに自分もまちづくりに参加していると理解してもらおうこと。